

2019 年度韓国留学体験レポート

新潟国際情報大学
国際学部国際学科
21018093 樋浦美優

4 か月韓国へ留学し、実際に感じたことを記述していこうと思います。韓国に行く前、留学中、授業中はすべて韓国語で行われると聞き、不安でいっぱいでした。しかし、実際最初の授業は日本語が話せる先生が授業を行ってくださいました。本当にわからないときだけ日本語で質問をしていました。だから、何も怖がる必要はなかったと思いました。月日が進むうちに、日本語を使わなくても当初よりは先生と会話できるようになりました。授業の内容は、韓国で過ごす中でたくさん活用することのできる文法を学びました。難しい内容だとしても、先生方は私たちにわかりやすく説明してくれました。教科書にはわからない単語が多く出てくるので、毎日予習していました。前もって単語を知っていたほうが、自分の体に入ってきやすかったです。常に韓国語が耳に入ってくるので、リスニング力は確実にあがりました。そして、その入ってきた韓国語を理解しようとする力も上がりました。韓国に短い期間いるだけでもこんなにも実力は上がるのかと実感しました。自分が全く外国語をできないからといって、留学をしないという選択はおすすめしません。自分が学んでいる言語が使われている国に実際に行き、日本語が使えない状況で過ごしてみるのとはとてもいいことだと思います。

そしてもう一つ私の語学力があがった理由として、トウミの存在が大きいのだと思います。日本人学生一人に韓国学生が一人ついてくれるという制度ですが、私は年下の女子学生がトウミになってくれました。その方の故郷の関係もあり、話す速度がとても速く最初はどうかと悩んだ時もありましたが、4 か月後にはその方の韓国語も理解できるようになっていました。最初のころ感じていた、何を言っているのかわからないもどかしさも無くなり、楽しく会話できるようになりました。私のトウミは日本語を勉強していたので、私も時々教えてあげていました。お互いに教えあい、お互いの語学力を向上させていました。私は話す速度が遅かったのですが、トウミは全く急かさずに私の言葉をととてもよく聞いてくれました。こんなにも優しいトウミと出会えてよかったです。本当にトウミ制度は良いものだなと思いました。

私は他人と話すことが少し苦手だったため、韓国へ行ったら絶対積極的に人に話しかけるという目標をたてていました。自分には少し難しい目標を立てたかなと思っていましたが、韓国にはフレンドリーな方も多くたくさん話す場面がありまし

た。その中でも私は積極的に話すことができたのではないかと思います。韓国へ行き、語学力やコミュニケーション力が上がり自分にとってプラスになることが多かったです。留学を迷っている方がいるのであれば、私は行くべきだと考えます。新潟国際情報大学は留学ができる素晴らしい学校です。貴重な機会を無駄にしてはいけないと私は思います。

今回留学を快く承諾してくれた両親、様々なサポートしてくれた先生方に感謝いたします。